	団体名	事業名	事業目的	事業実施による課題解決や活性化	事業内容・計画
1	古戸ひじり会	都市との交流移住事業・地域環境整備事業	過疎・少子高齢化による地域の衰退が進む中、地域維持のために、都市との交流移住事業を勧め、地域の維持支援事業・地域環境整備を行うもの。	参加者と地域住民との信頼関係が育まれ交流から移住への足掛かりと成り得ることと、古戸応援隊として地域の行事等に参加することにより、地域の活性化につながる。	古戸応援隊・イベント参加者と地域住民とで遊休農地を活用し、農作物の作付け・栽培と地区内散策路の整備を行う。 全体的には２年間を目標に、参加者と地域住民との交流を図り、定住促進と地域内行事等への参加で地域の維持と地域の活性化に取り組んでいく。
2	かねば会	東栄小学校、赤谷地域整備事業	区民の連帯感や協働意識を高めるために、赤谷集会所付近や小学校南側の景観をよくして、小学校南側周辺の整備、赤谷地域整備の事業を行うもの。	地域の環境保全活動として地域活性化につながる。	小学校南側周辺草刈り、赤谷地域に植栽した桜周辺整備作業などを継続的に行う。 全体的には、持続的に５年間目標に小学校、赤谷地内２ヵ所の環境保全活動を行う。
3	NPO法人てほへ	のき山学校プロジェクト	2010年４月に廃校となった東部小学校において児童たちが地域のみなさんと交流をしてきた「のき山市」を引き継ぎ、「ＮＰＯ法人てほへ」が地域住民と「志多ら」を通じて東栄町を応援して下さる志多らファン（地域内外）との交流会等の「のき山学校プロジェクト」事業を実施する。	町外からの参加者は年々増加し、志多らファンからの関わり方から、のき山学校ファン、東栄町ファンへの進化発展し、交流人口増加として町の認知度が増している。一方で地元住民への参加呼びかけに関心啓蒙が今後も必要と考えている。町民と地域外の方がイベントを通じて交流することでさらなる地域活性への呼び水になると考えている。様々なきっかけで、東栄町を知っていただいた方に本事業を通じて、この地域の魅力（人材）に出会う場所（空間）を作ることで交流につなげ、東栄町ファンを増加させ、町の未来の地域活性化へつなげていく。	積極的に地域住民に呼びかけ、のき山学校の利用促進、イベントへの参加、又は、実行委員会運営による行事の催行の機会を作ります。「のき山学校プロジェクト」は、常時目的を推進するために他団体とも連携を図り様々な企画を実施し、移住先駆者として地域で活躍し、奥三河ふるさと観光大使である志多らと連携協力する事で、広く情報発信をしながら事業を展開する。のき山学校の持続的活用に向けて、ソフト面の企画運営などのさらなる充実と施設維持への町民の理解を得るという課題克服に向けて取り組む。
5	チェンソーアートクラブ マスターズ・オブ・ザ・チェンソー東栄	地域資源の活用事業	間伐材を使ってチェンソーアート作品を制作するときに出る木っ端やおが粉の有効活用を図るため。また、使用済み天ぷら油を回収することでゴミを減らし、チェーンオイルにリサイクルするために行う。	今まで放置されていた木っ端やおが粉を薪などにリサイクルすることで環境保全・資源の有効活用につながり、林業センター周辺整備事業にもなり、地域課題の解決が見込める。	おが粉の保管場所と使用済みてんぷら油の回収容器保管倉庫を新設する。作成した薪やウッドチップを供給する事業も試験的に行う。また、一昨年開始した使用済み天ぷら油の改修事業を再周知させるための広報活動や、回収事業を行う。全体的には、３年間を目標に、林業センター周辺整備事業を行う。
7	子育てサークルたんぽぽの会	子育てにこにこ応援事業	東栄町にこにこ広場を利用する未就園児親子を対象に行う。家庭に閉じこもりがちだった未就学児親子にとって、たんぽぽの会での活動を通して、少しずつ育児仲間や地域社会とのつながりが強くなり、親も子も生き生きとした生活を送れるようになってきた。今年度は「東栄町をもっと知ろう！みんなで楽しんで子育て！」をテーマに東栄町ならではのイベントを盛り込んだり、地域の人と関わったりとみんなの「やってみよう」「知りたい」を大切に活動する。子育て世代が東栄町のことをもっと知り、東栄町の魅力を感じられるようにする。	①親子同士のつながりを深める ②育児仲間や地域社会とのつながりが強くなる。 ③同世代の子を持つ親子の交流を深め楽しく育児をする。 ④東栄町の魅力を知り、発信することで東栄町への愛着や定住意識が高まるということが期待できる。	①毎週火曜日にたんぽぽの会を開催し、親子で参加しながら子育ての知識や技術を高められるような環境を設定する。 ②母親向けの講座を開催し、母親たちがリフレッシュできるような機会を設ける。③東栄町のものや自然を生かした親子で参加できるイベントやにこにこ広場で子育て座談会などを行い、育児仲間や地域社会とのつながりを強くできるようにする。子ども同士、親同士、さらには地域の様々な人たちと子育て家庭をつなぐ事業として継続する。新型コロナウイルスの影響もあるが、新生活様式を意識し、活動の中で知恵を出し合い、考えながら実践していく。
8	魅その人こまめ会	人生はまだまだこれからが楽しい！！ プロジェクト２０２２	御園で暮らす人々のためにそれぞれが人生の主人公として生きていくことをみんなで応援するため。	①この地で暮らす人が持つ生活文化の継承・学び②一人暮らし世帯や生活に不自由している世帯の悩み・困りごとの把握・サポート③人とのつながりを持ちにくコロナ禍での暮らしの改善	これまでの活動で蓄積した記録・データの整理と記録化、生活の取材、安心安全に利用することができる孤食が減る取り組み、楽しい生きがいづくりを実施。全体的には、２年間を目標に、この地の生活文化や暮らし・人を記録として残すこと、安心安全に人とつながれる食を通した取り組みの定例化を行う。
9	ウィルwill	「スポーツの可能性、無限大！あなたの伸びしろ、無限大！」プロジェクト２０２２	子どもたちが自主的・自発的にスポーツ活動の体験をしていくことを保証し、地域として積極的に子供の育ちに関わり、生涯を通してスポーツに親しみ、人生の生きがいを見つけるため。	子どもたちがさまざまなスポーツ活動を体験できるとともに、地域の住民が子供たちの育ちに関わり、生涯にわたったスポーツの取組みを通して心身の健康維持・増進をはかる。	各種スポーツ活動の体験機会及び、スポーツのもつ意義を学ぶ機会を設ける。全体的には、３年間を目標に、スポーツ活動を通した地域の人との触れ合いの場を発展させ、社会教育的機能を発揮させた学校との連携事業を行う。
10	桜の会	地域活性化のための地域づくり活動事業	地域活性化のために地域づくり活動を行う。	地域活性化、環境美化、文化遺産の保全。	河内地区の町道河内中在家線の環境美化活動（道路の見通しをよくするために立木の伐採、道路の草刈り）、亀ヶ城跡地の環境整備活動、地域内の行事への参加を行います。全体的には、５年間を目標に、地域活性化のための地域づくり活動事業を行う。
11	持続する楽しい地域の暮らしを作る会	小林地区集会所前空き地公園化を含む地区整備	小林地区の棲みやすい地域環境づくりと外部との交流活性化のために小林地区集会所前広場及び町並みの整備	小林地区を、子どもたちを含めた若い人々も住みやすい可能性と魅力のある地域にする。また地区外の人々にも訪れてもらって小林地区に日頃から親しんでもらい、花祭りなどへも足を運んでもらえるようにし、小林地区と外部とのつながり作りをする。	集会所前の広場の草刈りを含む整備・公園化、町指定文化財でもある枝垂桜の保守、夜桜ライトアップ、今後の事業計画作りに向けた勉強会等を行う。全体的には、まずは３年間を目標に（本年度は３年目）、集会所前の広場の公園化整備、地域の住環境整備を行い、若者層も含めた地域の人にとって住みやすく、かつ外部の人にも魅力が伝わる田舎の地域作りを行う。
13	「川角花いっぱい咲かす会」	「川角に花いっぱい咲かす会」とし熟年パワーで花の名所づくり事業	「定年退職後等の生きがいをつくり熟年パワーを引き出し、癒しの場となる花の名所をつくって川角を元気にする」を目的に、川角区民に呼びかけ地域を大切に思う気持ちを形にするもの。	「かつてあった地域の絆が、時代と共に次第に失われつつある」このことを住民自らの力で解決し、この最も身近な地域社会のつながりの大切さを改めて実感させる。花づくりは成果が見えやすく、人々に喜ばれるため地域住民が参加しやすいので、地域の支え合いを復活させやすい。	川角神社の境内やお社周辺の環境整備を進め、シカなどの獣害があまり好まないとする「さつき、つつじ、アジサイ、桜等」を植える。全体的には、５年間（令和８年３月末）を目標に、上川角と下川角の道路周辺、空き地等に植栽する。
14	郷土巡りの会	郷土の歴史文化遺産を学び、受け継ごう	郷土(東栄町)の貴重な歴史・文化遺産を多くの人に知っていただくために、調べたり学んだりして、先人の遺産を継承するため。	郷土(東栄町)の遺産の価値に気づき、貴重な歴史・文化遺産を継承しようとする町民が増えることが期待される。	戦争体験を受け継ごう ①戦争体験者からの戦争中のくらしを教えていただく。②教えていただいたことをまとめて町民に知っていただく機会を設ける。 東栄町の城跡を訪ねよう ①町内の城館を巡り歴史や文化を調べる。②調べたことを町民に知っていただく機会を設ける。 会員の活動だけでなく、町民の協力を得る方法をとることによって、関心を高めることができる。文化協会に加入するとで発表の機会を広げることができる。
15	愛知登山道整備協会	登山道の清掃及び整備	奥三河東栄町内の山の保全のため、また登山者が安全に山を登るため。	登山道の荒廃という地域課題の解決が見込める。ひいては安全に登山ができ、登山者にとって魅力的な山となることでより多くの登山者を誘致でき、東栄町の活性化につながる。	三ツ瀬明神山の登山道整備を行い、道迷いを防ぐための道標の設置を行う。また、講師を招いて登山道整備講習を実施し、正しい登山道整備の技術を習得する。全体的には、３年間を目標に、東栄町内の山の既存の登山道の整備を行う。
16	大千瀬てらす実行委員会	大千瀬テラス	幅広い世代が利用できる場を設け、特色ある地域づくりの取り組みを進めながら地域の魅力を発信し、東栄町の活性化の推進に寄与するため。	河川を有効活用し広い世代が利用できる場を設け、町外から川遊びに来る方を誘客し、経済効果を高めるとともに、地域住民の遊び場の確保、路上駐車等での渋滞の緩和、水難事故防止という地域課題の解決と地域の活性化が見込める。	浄化センターで７月30日～８月末まで川遊びイベント「大千瀬てらす」を行う。全体的には、３年後を目標に、河川の環境整備（竹林の伐採、斜面の舗装、階段設置等）を行う。
17	108/COMMITTEE	奈根倉庫改装工事	幅広い世代が利用できる場を設け、特色ある地域づくりの取り組みを進めるために、廃工場を有効活用し、地域の魅力発信を行うため。	幅広い世代がイベントなどを実施し、人との繋がりを広げ新たな活動に取り組むことができることで、町内の活性化につながる。	廃工場の電気設備の入れ替えと工場内壁面の修繕を行う。全体的には、２年間を目標に、子供の遊具の設営やイベントとして活用できる場を作り上げ、その後精力的にイベント活動を行う。

※補助金申請時の事業概要のため、実績と異なる場合があります。